

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究」

分担研究報告書

「 ウェブサイト「小児医療の広場」の作成と公開

～時間外診療可能な小児医療施設に関する情報をリアルタイムで

ウェブサイト上に表示できるシステムの構築と試験運用

研究分担者 植田 育也 静岡県立こども病院 小児集中治療センター

#### 研究要旨

平成 24 年度の本分担研究では、各県の救急医療情報サイトが小児の情報に特化しておらず、成人の救急医療も含む全情報から小児関連の情報を抽出することが非常に困難であることがわかった。このため、平成 25 年度の本分担研究では、まずは市民が当座受診することになる小児の 1 次救急診療施設の情報のみを抽出してマップ化することとした。手始めとして、当分担研究者の所在地の静岡県において当該研究を行った。

静岡県の救急医療情報サイトを運用している担当部署と協議し、県のウェブサイトで公開している情報から、小児の 1 次救急診療に関する情報の提供が可能となった。これを受けて県のシステム担当者との協議し、情報提供を受けるための自動化アプリケーションを作成した。それにより、本研究班のウェブサイト上に表示する情報の正確性と迅速性が担保されることとなった。

静岡県での試みが有用と評価されれば、今後は各県単位で小児の 1 次救急診療施設の応需情報をマップ化し、これが全国に広がれば最終的には「小児救急医療」に特化したシームレスな全国マップを構築することができる。

#### A. 研究目的

本分担研究では、地域において時間外に小児救急医療を提供している医療機関に関する情報を容易に検索できる地図を作成し、インターネットから一般に公開することを目的として来た。

平成 24 年度の本分担研究では、まず、各県単位で公開されている救急医療に関する情報について精査を行った。この結果、各県の救急医療情報サイトは小児の情報には特化しておらず、成人の救急医療も含む全情報から小児関連の情報を抽出することが非常に困難であることがわかった。また、当該サイトから得られる情報は、時間外の小児救急医療の応需体制を網羅

している場合もあったが、その一部のみしか提供されていない場合も見られた。

以上から、平成 25 年度の本分担研究では、まずは市民が当座受診することになる小児の 1 次救急診療施設の応需情報をマップ化することとした。当該情報は県単位で統括されており、全国マップ化に際しては各都道府県と個別の折衝が必要となる。このため、まずは当分担研究者の所在地の静岡県においてマップ化を行うこととした。

#### B. 研究方法

はじめに、静岡県の救急医療情報サイトを運用している担当部署と協議し、県のウ

ウェブサイトで公開している情報から、小児の1次救急診療に関する情報を提供することを実現した。

県の当該システムの担当者と協議し、上記情報の提供を受けるための自動化アプリケーションを作成した。

以上により、日にち、また時間単位で変化する小児の1次救急診療施設の応需情報をリアルタイムでグーグルマップ®上に表示した。

完成したサイトを公開し、情報の正確性、迅速性や、またサイトの利便性に関して検討を加える予定とした。

(倫理面への配慮)

本研究は個人を特定するものではなく、人権擁護等の倫理的問題は発生しない。

#### C. 研究結果

静岡県の救急医療情報サイトから、研究班のウェブサイトへの情報提供が可能となった。自動化されたアプリケーションを作成し、これにより県のシステムからの情報取得に成功した。小児の1次救急診療施設の応需情報をリアルタイムでグーグルマップ®上に表示することができ、それを本研究班のウェブサイト上に表示した。

#### D. 考察

前年度の試験公開後、地域によっては公開している情報の現状との不一致、また陳腐化が指摘された。これを克服するため、まずは各県が責任を持ってウェブサイトで公開している救急医療情報をソースとし、その中から小児の救急に関する情報を抽出することを基本とした。さらに、リアルタイム性を確保するため、県が情報更新を行った際には迅速に本研究班のサイトにもその更新が反映されるように、自動化アプリケーションを作成した。

以上により、本研究班のウェブサイト上に表示する情報の正確性と迅速性が担保されることとなった。

#### E. 結論

市民が当座受診することとなる小児の1次救急診療施設の全国マップ化及びインターネット上の公開を試みた。

まずは静岡県において、上記の情報のマップ化を行った。マップ化にあたっては、県が公開している情報をソースとし、自動化プログラムにより更新を反映させた。これにより情報の正確性と迅速性が担保された。

静岡県での試みが有用と評価されれば、今後は各県単位で小児の1次救急診療施設の応需情報をマップ化し、これが全国に広がれば最終的には「小児救急医療」に特化したシームレスな全国マップを構築することができる。

#### F. 健康危険情報

特記すべき事項なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

特記すべき事項なし

##### 2. 学会発表

特記すべき事項なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況(予定含)

##### 1. 特許取得

特記すべき事項なし

##### 2. 実用新案登録

特記すべき事項なし

##### 3. その他

特記すべき事項なし

